

平成25年4月10日
特定非営利活動法人
水産業・漁村活性化推進機構

全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）に係る
模型水槽実験に関する公募

漁業復興支援運営事業の実施に際し、下記により模型水槽実験業務の委託先を公募します。

【 公 募 要 領 】

1. 発注業務 : 全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）に係るさんま棒受網漁船の模型水槽実験
2. 発注業務の内容 : 別紙発注仕様書のとおり
3. 公募期間 : 平成25年4月10日（水）～4月23日（火）
4. 企画提案書の提出期限等
 - (1) 提出期限：平成25年4月23日（火）午後5時必着
 - (2) 提出場所：東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル5階
特定非営利活動法人 水産業・漁村活性化推進機構
 - (3) 提出書類及び部数
 - ・企画提案書（自由形式）・・・5部
 - ・経費内訳表（自由形式）・・・5部
 - ・提出者の概要がわかる資料（過去の実績、担当者及び経歴等を含む）・・・1部
 - (4) 企画提案書の提出は、原則として郵送、宅配便、又は提出場所窓口での受け付とし、ファクシミリ又は、電子メールによる提出は受け付けません。
 - (5) 提出者の組織・業務、企画提案、経費内訳等について、必要に応じヒアリングを行います。
5. 参加条件
 - (1) 公益法人、一般企業等とする。個人の参加は認めません。
 - (2) 農林水産省競争参加資格(全省庁統一参加資格)を有すること(資格書写し提出)。
 - (3) 企業の場合は、直近決算書、納税証明書、登記簿謄本(写し可)を提出すること。

7. その他

- (1) 企画提案に関する提出書類は返却しない。
- (2) 企画提案に関する費用は提案者が負担する。
- (3) 審査内容・基準は、公表しない。

8. 採用決定

採用又は不採用を書面で通知します。

9. 問合せ先 : 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル5階
特定非営利活動法人
水産業・漁村活性化推進機構 (土・日・祝日は除く)
TEL03-6866-7111 / FAX03-6866-7114
E-Mail : kozokaikaku@fpo.jf-net.ne.jp

以上

全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）

さんま棒受網漁船の模型水槽実験業務に係る発注仕様書

1、目的

歯舞地区部会のさんま棒受網漁業において、収益性の改善を図るため、経済性、安全性、居住性を備えた改革型漁船を建造するにあたり、模型水槽実験により安全性について検証するため。

2、業務発注の内容

別添の「全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）さんま棒受網漁船建造計画書」に基づき、次に掲げる実験等を行い、実験結果報告書等を作成し指定部数を提出する。

（1）業務の内容

①模型の製作

②水槽実験（横波、旋回、向波、追波等）

③成果物の提出等

- ・実験報告書：5部、同電子媒体：5枚（CD-R）
- ・動画情報（転覆に至る状況を示す動画）：5枚（DVD-R）
- ・結果に基づく指導：全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト

（2）対象船の主要目

- ・漁業種類：さんま棒受網漁業
- ・総トン数：19トン（軽合金）
- ・その他：建造計画書参照

上記の他、必要なデータ等については、機構が提供する。

3、業務委託に関する条件

（1）履行期間

契約締結日から平成25年7月末日とする。

（2）業務スケジュール

- ・平成25年7月中旬：実験結果に関する水漁機構への報告及び実験結果に関する成果物の納品
- ・平成25年7月下旬：実験結果に基づく地域プロジェクト等に関する指導

(3) その他

- ①業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- ②成果品は全て発注者の所有とし、受託者は発注者の承諾を得ないで当該成果品を公表若しくは貸与若しくは使用してはならない。
- ③この仕様書に定めのない事項については、別途発注者及び受託者が協議して決定するものとする。

以上

全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）
さんま棒受網漁船建造計画書

1. 目的

歯舞地区部会のさんま棒受網漁業において、省エネ型の低燃費機関やLED漁灯設備を組み合わせた改革型漁船を導入し、操業にかかるコストを削減すると共に、既存のブランドさんま拡充の取り組み等を行うことで収益性の向上を図り、当地区の水産業の復興に繋げる。

（別添 復興計画の基本コンセプト参照）

2. 船体要目は以下のとおり

・漁船種類	さんま棒受網漁業
・計画総トン数	19トン（軽合金）
・計画航海速力	13ノット
・最大航海日数	120日
・主推進装置	809kw（最大出力890kw）
・発電機	補機130kVA
・最大搭載人員	9人
・魚艙容積	魚艙34.80m ³

3. 主要漁労機器等は以下のとおり

・サイドローラー	・環巻ウインチ
・キャプスタン	・フィッシュポンプ
・LED集魚灯一式 など	

4. 一般配置図（別添）

全国さんま棒受網地域漁業復興プロジェクト（歯舞地区部会）
漁業復興計画の基本コンセプト

1. 目的

歯舞地区部会のさんま棒受網漁業において、省エネ型の低燃費機関やLED漁灯設備を組み合わせた改革型漁船を導入し、操業にかかるコストを削減すると共に、既存のブランドさんま拡充の取り組み等を行うことで収益性の向上を図り、当地区の水産業の復興に繋げる。

2. 復興のコンセプト

(1) 生産に関する事項

① 省エネルギー・省コスト型漁船の導入

LED漁灯を活用し燃油消費量の削減、造波抵抗を低減した省エネ船型、低燃費主機関の導入によりコスト削減を図る。

② 漁船の安全性と労働環境の向上

- ・主機関を低重心化し、復原性の改善による安全性の向上を図る。
- ・LED漁灯の採用により洋上での交換作業が不要となり、漁労作業の安全性確保と労働負荷の軽減、作業効率の向上を図る。
- ・全居住区に冷暖房設備を搭載し居住環境の改善を図り、好適な休息環境を確保し労働環境の改善を図る。

③ 高鮮度による付加価値向上及び衛生管理対策

- ・一本立ち歯舞さんま専用の魚艙コンテナを導入。
- ・シャーベット氷製造機を設置し、従前からのブランド化商品の更なる質の向上を目指す。
- ・魚艙内張りに防錆効果の高い塗装をし、漁具と接触する箇所にステンレス板を張る。

④ 資源及び環境への配慮

TAC制度に基づく資源管理を徹底し、必要に応じて自主休漁を行う。また、環境への配慮を施した設備を導入することで海洋汚濁や大気汚染防止に努める。

(2) 流通・販売に関する事項

① 高付加価値さんまの流通体制の構築

加工・流通業と連携し、既存の流通体系も活用しつつ、商品特性にあった高付加価値さんまの流通の開拓を図るなど、地域の水産業発展に貢献する。

② 新規需要の開拓

根室市と根室市アジア圏輸出促進協議会が連携し、海外市場を視野に入れたさんま加工品の試験輸出を計画する。

③ 歯舞産さんま知名度向上

消費者に対して、歯舞産さんまを用いた各種取組みと連携し、高付加価値さんまの知名度向上を図る。

